

福井市との包括連携事業

街の賑わいを、街の魅力を作り出すプロジェクト 「フクイ夢アート2016」に参加しました。

生活科学学科 生活デザイン専攻 教授 西畑 敏秀



モンスターに仮装した仁短生たちが、街中の子供たちにお菓子をプレゼント。



西武福井の88周年だるま祭で展示した仁短生の作品を展示。



夢アートステーションとハピテラスで「ひかりの実ワークショップ」を展開。



駅前13店舗取材して「イチオシポスター」をデザインして展示。



新しくなった福井駅西口周辺を、一般の方々と混成して大パレード。

「フクイ夢アート」は、アートを通じて人と人、人とまちを結びつけ、まちの賑わいを、まちの魅力を作り出す今回で7回目のプロジェクトです。県内外のアーティストをはじめ、地元商店街や市内の大学、行政などが、様々なアート企画を持ち寄り、10月2日（日）～30日（日）までの29日間、まちなかがアート一色に染まりました。生活デザイン専攻の1・2回生全員が、期間中ガレリア元町の空き店舗を活用した夢アートステーションで、西武福井のだるま祭りで協力した88体のオリジナルだるまの展示や、ハピテラスで子供たちに参加してもらった「ひかりの実ワークショップ」を展開しました。また、駅前商店街の各店舗取材し、イチオシ商品やサービスを写真とコピーでポスターに仕上げる企画や、最終日には恒例の仮装して街を練り歩くハロウィンパレードも一般市民と合流して盛大に開催。今年の仮装テーマは「モンスターズ・オリンピック（閉会式）」。仁短生の若い力で街中を大いに盛り上げました。